



平成24年3月16日

日本初「生殖補助技術キャリア養成コース」の開設

＜概要＞少子化が慢性化し、高齢化が進んでいる我が国において出産数を増やすことは国家的急務の一つであるが、我が国の夫婦の7組に1組が不妊といわれている。そこで、それらの夫婦が子を授かるようにする生殖補助医療(不妊治療)が盛んに行われている。また、その医療を支えるため、多くの農学部や医学部保健学科出身者が医師の下で生殖補助医療技術者として活躍している。

そこで、岡山大学農学部応用動物科学コースおよび医学部保健学科、近隣の不妊治療医療機関との連携により、我が国初となる学部レベルでの「生殖補助技術キャリア養成特別コース」を平成24年度より農学部生を対象に開設する。また、平成25年度には医学部保健学科の学生も対象とするようコースの充実を進めている。

- 1 特徴：我が国初となる学部レベルでの生殖補助技術キャリア養成特別コースです。
- 2 準備：本特別コース開設に向けたプロジェクトは、平成23年度岡山大学教育研究プロジェクト等支援事業「生殖補助技術キャリア養成特別コースの構築」によって、農学部および医学部保健学科の関係教員による準備組織を形成し準備を進めてきました。
- 3 目的：不妊治療の現場では、医師が採取した生殖細胞を処理しているのは胚培養士や臨床エンブリオロジストと呼ばれる生殖補助技術者で、農学部や医学部保健学科出身者で占められています。しかし、生殖補助技術者を志望する学生に対し体系的にそれらを教授する環境は整っていません。
- 4 開設：平成24年4月
- 5 実施方法と目的：
農学部応用動物科学コースや医学部保健学科を横断して形成された教育組織を中核として、近隣の不妊治療機関の協力を得た研修プログラムなどを盛り込んだ教育カリキュラムを整備することによって、医療現場の基本的知識と即戦力となりえる諸技術を兼ね備えた生殖補助技術者を養成・輩出することを目的にしています。
- 6 修了証書と将来の展望：
特別コースカリキュラムを履修した学生には、卒業時に農学部長名の修了証を発行します。現在、医学部保健学科でも特別コース開設に向けた準備を進めており、平成25年度から両学部の学生を対象にした特別コース開設を目指しています。その際、修了者には学長名による修了証を授与するよう計画しています。

＜お問い合わせ＞

岡山大学農学部長 奥田 潔

(電話番号) 086-251-8270

(FAX番号) 086-251-8388